

法学部A方式Ⅱ日程・国際文化学部A方式
キャリアデザイン学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～25	日 本 史	26～40
世 界 史	42～58	地 理	60～69
数 学	70～72		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学については以下の注意事項も参照すること。
 - ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
 - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

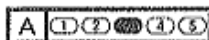
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(世界史)

〔I〕 つぎの文を読み、下記の問題に答えよ。

14世紀後半、ヨーロッパは疫病の流行や農民の反乱などにより、経済的・社会的に大きく疲弊した。こうした危機的閉塞状況を打開する一つの策として推進されたのが、15世紀以降のヨーロッパによる世界規模の海外進出であった。新航路の開拓により、大西洋を横断してアメリカ大陸に到達したスペインは、アメリカ大陸の植民地化を推し進めた。このスペインによるアメリカ大陸征服において中心的役割を担ったのが 〔A〕⁽¹⁾ であった。スペイン政府は、〔A〕 や入植者に対し、先住民をキリスト教徒化することを条件に、先住民を労働力として使役する権利を認めるエンコミエンダ制を導入した。エンコミエンダ制のもと先住民は奴隷同様に酷使され、またヨーロッパから持ち込まれた天然痘などの疫病によって、その人口は激減した。そのためスペイン政府は、各国の政府や商人と 〔1〕 を結び、アフリカから黒人奴隷を西インド諸島やアメリカ大陸のスペイン植民地に連れてきた。黒人奴隷は先住民とともに、鉱山やプランテーションで酷使された。ヨーロッパ人によってアメリカ大陸や西インド諸島に持ち込まれたのは疫病や黒人奴隷ばかりではなかった。馬、牛、羊などの動物や、小麦、大麦、米などの作物が持ちこまれる一方、アメリカ大陸や西インド諸島のプランテーションで栽培された農作物は、ヨーロッパに持ち出され売りさばかれた。また、ヨーロッパ人によって持ち出されたアメリカ原産の作物は、世界各地の貿易・文化・生活に大きな影響を与えた。⁽²⁾

スペインに遅れること約1世紀、イギリス・フランス・オランダといった新興列強が北アメリカにおいて植民活動を開始した。イギリスは、1607年にアメリカ大陸初の植民地を、現在の 〔2〕 州のジェームズタウンに建設した。その翌年の1608年には、フランスがセントローレンス川沿いに毛皮交易の拠点として植民地 〔3〕 を建設した。さらに、1614年以降、オランダは 〔4〕 川下流⁽³⁾ 一帯に植民地を形成した。こうしたヨーロッパ諸国の植民活動は、新興列強間の

覇権争いへと発展していった。第2次イギリス＝オランダ(英蘭)戦争では、オランダの北アメリカにおける植民地の大半がイギリスの手に渡った。またイギリスとフランスの間で生じた、4 川・セントローレンス川経由の輸送路をめぐる対立、毛皮獲得競争の激化、そしてプロテスタント対カトリックの宗教的対目は、先住民を巻き込む抗争へと発展していった。この英仏間で繰り広げられた植民地争奪戦を通じ、イギリスは18世紀半ばに北アメリカにおける優位を確実なものとした。

イギリスの北アメリカにおける植民地、とりわけ北東部の13植民地では、18世紀に入り大西洋を横断する船が増加するにつれ、本国の情報や文化が植民地のエリート層の間で一層共有されるようになった。植民地の主要な都市では新聞が発行され、大英帝国に関する政治・経済・外交問題の情報が詳細に伝えられた。また、植民地では実用書やパンフレットなどが印刷されるようになり、印刷物を媒介とする言説が植民地のエリート層の間で重要な役割を果たすようになっていった。さらに、茶や砂糖などの嗜好品の消費、銀食器の使用、衣服における本国風のスタイルなどが、植民地においても広まっていった。こうした本国風の消費・生活様式を取り入れることは、植民地においてはステータスシンボルとしても機能した。しかし、イギリスのジョージ3世が植民地への支配強化を図ると、イギリス商品不買運動が起こり、やがて本国に対する植民地の反発はアメリカ独立革命へと発展していった。アメリカ独立革命は、ヨーロッパ諸国を巻き込む戦いの末、アメリカ側の勝利に終わる。アメリカ独立革命の達成は、フランス革命やラテンアメリカにおける独立運動にも影響を与えた。

問1 空欄 から に入る最も適当な語句を、以下の語群から一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 アシエンダ | 2 アシエント |
| 3 ヴァージニア | 4 オハイオ |
| 5 カトー=カンブレジ条約 | 6 ケベック |
| 7 ケープ | 8 サラゴサ条約 |
| 9 ニューラナーク | 10 ノースカロライナ |
| 11 ハドソン | 12 プリマス |
| 13 ミシシッピ | 14 ミズーリ |
| 15 メリーランド | 16 リオグランデ |
| 17 リソルジメント | 18 ヨークタウン |

問2 空欄 に入るべき適切な語をカタカナで正確に記せ。

問3 下線部(1)に関連して、以下の1～6から18世紀にスペインのアメリカ大陸における植民地だったものをすべて選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|----------|---------|--------|
| 1 ジブラルタル | 2 ジャマイカ | 3 ハイチ |
| 4 ペルー | 5 フロリダ | 6 メキシコ |

問4 下線部(2)に関連して、以下の文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 16世紀半ばから17世紀初頭にかけて、イベリア半島では高度な灌漑技術をともなうサトウキビやブドウの栽培がひろまった。
- イ 17世紀前半、アフメト3世治世下のオスマン帝国では、チューリップの栽培が流行した。
- ウ 17世紀から18世紀にかけて、中国ではトウモロコシやサツマイモが栽培されるようになった。
- エ 16世紀半ば、ヨーロッパでは貴族とともに一般市民が茶・砂糖・コーヒーを消費するようになり、都市にカフェが出現した。

問5 下線部(3)に関連して、アメリカ大陸におけるオランダの植民地の拠点となった都市の名前を、解答欄にカタカナで記せ。

問6 下線部(4)に関連して、ウィリアム王戦争からナポレオン戦争までの一連の英仏間の戦争の総称を、解答欄に正確に記せ。

問7 下線部(5)に関連して、以下の文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア フレンチ＝インディアン戦争の結果、カナダはフランス領からイギリス領になった。

イ ワーテルローの戦いの結果、ミシシッピ川以西のルイジアナは、ナポレオンによりフランスからイギリスに割譲された。

ウ スペイン継承戦争と並行して戦われたアン女王戦争の結果、フランス領のニューファンドランドやアラスカなどがイギリス領となった。

エ 七年戦争と並行して戦われたジョージ王戦争の結果、ミシシッピ川以東のルイジアナが、フランスからイギリスへ譲渡された。

問8 下線部(6)に関連して、以下の文章のうち正しいものをすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ジョージアは、イギリスの債務者救済のために建設された。

イ メリーランドは、13植民地のうち一番最後に建設された。

ウ ニューイングランドは、ピルグリム＝ファーザーズを中心に建設された。

エ ペンシルヴェニアは、クウェーカー教徒の安住の地として建設された。

問9 下線部(7)に関連して、13植民地のイギリスからの独立の正当性と共和国樹立の必要性を訴え、1776年に発表された出版物の題名を、解答欄にカタカナで記せ。

問10 下線部(8)に関連して、印紙法に反対する植民地側の論理を表明したスローガンを、解答欄に日本語で記せ。

問11 下線部(9)に関連して、以下の文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 先住民インディアンには、独立に反対する国王派が多かった。

イ 1781年のサラトガの戦いでアメリカ軍は大勝し、独立戦争の勝利を確実にした。

ウ 1776年の第2回パン＝アメリカ会議において、独立宣言は採択された。

エ 連邦派はジェファソンを中心に、憲法草案を作成した。

問12 下線部(10)に関連して、アメリカ独立戦争へのヨーロッパ諸国の対応に関する以下の文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ロシアのエカチェリーナ2世は、イギリスを間接的に援助するために武装中立同盟を提唱した。

イ ポーランドは、ロシアに対抗するためにアメリカと同盟して対英宣戦した。

ウ スペイン・ポルトガル・オランダは、フランスと同盟して対英宣戦した。

エ スウェーデンやデンマークは、イギリスの国際的孤立化を図る武装中立同盟に参加した。

問13 下線部(1)に関連して、以下の文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ハイチでは、黒人指導者トゥサン＝ルヴェルチュールによる抵抗運動から独立運動が発生し、フランスからの独立を達成した。

イ パナマでは、スペインからの独立を達成したのち、アメリカによる干渉に抵抗してパナマ運河の国有化が宣言された。

ウ メキシコでは、先住民出身のファレスの指導で、スペイン軍を破り独立を達成した。

エ ラテンアメリカ諸国の独立運動には、イタリアのガリバルディやフランスのラ＝ファイエットなどのヨーロッパ人も参加した。

〔Ⅱ〕 つぎの a～e の各文を読み、下記の問いに答えよ。

- a 日本の関東軍は において満鉄線の爆破事件を起こし、これを中国側の仕業だとして攻撃を加え、中国東北地方の大半を占領した。日本はその地域にかいらい国家である満州国をたて、 をその皇帝に就任させた。⁽¹⁾これに対し、中国政府は東北地方で日本軍に抵抗するよりも、共産党との戦い⁽²⁾を優先する方針を採った。政府軍による攻撃を受けた共産党は、攻撃から逃れるために長征を行い、約2年をかけて陝西省北部の まで移動した。この移動の過程で共産党内の結束は強まり、その途上で開かれた遵義会議において の主導権が確立したといわれる。その後、 には共産党中央の各種機関が置かれ、抗日戦争や解放戦争指導の中心地となった。
- b 日本は上海や南京を攻略した後、南京に国民党左派の重要人物であった ⁽³⁾ を主席とする親日かいらい政権をたてたが、この政権の統治は日本の占領地域に限られた。この間、中国政府は首都を重慶に移し、アメリカやイギリスの支援をうけて抗戦を続けた。⁽⁴⁾他方、共産党は広大な農村地帯に抗日根拠地を築き、ゲリラ戦を継続した。太平洋戦争が始まると、中国政府も枢軸国に宣戦布告し、連合国の一員として抗日戦争を戦うこととなった。アメリカ、イギリス、中国の首脳は において会談を行い、日本に無条件降伏を求める方針を確認すると同時に、満州や台湾・澎湖諸島などの中国返還を求めることも決定した。その後、日本の敗戦が決定的となると、中国は 宣言の共同宣言国となり、日本に無条件降伏を勧告した。
- c 中国の学生、知識人、市民らは激しい反日運動を展開し、政府に対して「(共産党との)内戦停止、一致抗日」を主張していた。このような世論や自軍の損傷などを考慮し、 らは政府による共産党討伐の命令に抵抗し、一致抗日を訴えた。 らは共産党討伐を督促するために を訪れた政府指導者を拘束し、共産党の とともに共同して一致抗日を迫った。その後、北京郊外の で夜間演習中の日本軍に何者かが銃弾を撃ち込んだ事件を発端として、日中戦争は全面戦争へと拡大した。これにともない、中国政府は共産党軍を国民革命軍に編入することを決定し、第二次国共合作が正⁽⁵⁾

式に成立した。

- d 講和会議における中国政府の重要課題は、山東半島におけるドイツ権益の中国への返還と、日本から強要されて受諾していた二十一カ条要求の撤廃の二点であった。しかし、二十一カ条要求は撤廃されず、山東省の権益は日本に帰属することが決定された。そのため、北京では学生を中心とする抗議デモが行われ、日貨排斥運動が全国へ広がった。このような運動が起きたことにより、中国政府は 条約への調印を拒否せざるを得なかった。このとき、民衆のなかから民族主義的な運動が起きた一因は、第一次世界大戦下の中国において、文学革命という民衆啓蒙運動がおこっていたこと⁽⁸⁾に求められる。たとえば、雑誌『新青年』の誌上において は白話(口語)運動をとまえ、儒教道徳を批判し、人間の自由と解放をうたった。また、 は同誌に白話小説『狂人日記』を発表した。
- e の死後、中国では軍閥による分割統治がすすむと同時に、欧米列強の中国進出はいっそう深刻な問題となった。そこで、中国国民党を率いる は広東に革命政府を樹立し、軍事力による全国統一を目指した。そのために、国民党はソ連と本格的に提携し、共産党員の国民党加入を認め、労働者や農民を援助する方針へと転じ、軍閥に対抗するための国民革命軍を編成した。 の死後、その意思を継いだ は、国民革命軍を率いて北伐を行った。この動きに対し、日本は中国での権益が損なわれることを恐れて出兵し、 を占領したものの、北伐軍はこれを迂回して北上した。他方、北伐の過程において、 は クーデターを起こして共産党との連合を崩壊させ、国民党右派を中心とする南京国民政府を樹立した。

問1 文中の空欄 ～ に入るべき地名を、下記の語群のなかからそれぞれ一つずつ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

〔語 群〕

- | | | | | |
|-----------|---------|-------------|-------|--------|
| 1 延安 | 2 広州 | 3 済南 | 4 上海 | 5 西安 |
| 6 成都 | 7 天津 | 8 南京 | 9 武漢 | 10 北京 |
| 11 奉天 | 12 香港 | 13 柳条湖 | 14 旅順 | 15 盧溝橋 |
| 16 ヴェルサイユ | 17 カイロ | 18 サン＝ジェルマン | | |
| 19 ジュネーブ | 20 セーブル | 21 テヘラン | | |
| 22 パリ | 23 ポツダム | 24 マルタ | | |
| 25 ヤルタ | 26 ロンドン | | | |

問2 文中の空欄 ～ に入るべき人名を、下記の語群のなかからそれぞれ一つずつ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

〔語 群〕

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1 袁世凱 | 2 汪兆銘 | 3 魏源 | 4 洪秀全 | 5 康有為 |
| 6 胡適 | 7 吳佩孚 | 8 周恩来 | 9 朱德 | 10 蔣介石 |
| 11 章炳麟 | 12 西太后 | 13 曾國藩 | 14 孫文 | 15 段祺瑞 |
| 16 張学良 | 17 張作霖 | 18 鄧小平 | 19 溥儀 | 20 毛沢東 |
| 21 李鴻章 | 22 李大釗 | 23 劉少奇 | 24 梁啓超 | 25 魯迅 |

問3 問題文 a～e を、起きた順に正しく並べたものは、つぎのうちのどれか。その数字を解答欄にマークせよ(解答方法は以下同じ)。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 d→e→c→a→b | 2 e→d→c→b→a |
| 3 d→e→a→c→b | 4 e→d→a→c→b |

問4 下線部(1)のような動きをうけた国際社会の反応について述べた以下の文のうち、誤っているものを一つ選べ。

- 1 国際連盟は中国政府からの提訴をうけてリットン調査団を現地に派遣した。
- 2 リットン調査団は報告書のなかで、満州における日本の利権を容認しなかった。
- 3 リットン調査団は報告書のなかで、関東軍の軍事行動を自衛権の発動とする日本の主張を認めなかった。
- 4 国際連盟はリットン調査団の報告書に基づき、日本に対する勧告案を採択した。

問5 下線部(2)について、このころまでの中国共産党に関する以下のa～dの文を古い順から正しく並べたものは、下記の1～4のうちのどれか。

- a コミンテルンの指導の下、陳独秀を初代委員長として上海で結成された。
- b 瑞金を首都とする中華ソヴィエト共和国臨時政府を設立した。
- c 南昌蜂起を契機として、党指導下の軍隊である紅軍を設立した。
- d 抗日民族統一戦線の樹立を提唱する八・一宣言を出した。

1 c→a→d→b

2 c→a→b→d

3 a→c→d→b

4 a→c→b→d

問6 下線部(3)について、このころの状況を述べた以下の文のうち、誤っているものを一つ選べ。

- 1 日本の南京占領部隊は捕虜や一般市民の多数を虐殺し、国際的に非難された。
- 2 日本は日本・満州・中国の連携をうたい、英米仏による旧秩序を否定する東重新秩序を掲げた。
- 3 日本軍は主要都市とそれを結ぶ交通路は確保したが、広大な農村は支配できなかった。
- 4 上海や南京を攻撃するに際し、日本は中国に宣戦布告し、中国との戦争を本格化させた。

問7 下線部(4)について、このころのアメリカ大統領であったフランクリン＝ローズヴェルトに関する以下の文のうち、誤っているものを一つ選べ。

- 1 企業の生産を規制すると同時に、労働者の権利を守る全国産業復興法を制定した。
- 2 列強諸国のなかで、最後にソ連を承認した。
- 3 カリブ海諸国に対して、軍事力を背景とする棍棒外交を展開した。
- 4 前任者は共和党出身であったが、彼は民主党出身であった。

問8 下線部(5)の第二次国共合作は終戦後に崩壊し、国共内戦が再燃する。その国共内戦について述べた以下の文のうち、誤っているものを一つ選べ。

- 1 国民党は共産党との停戦協定を破り、アメリカの支援も得て攻勢をかけた。
- 2 国民党は幹部の腐敗や経済の混乱によって、民衆の信頼を失った。
- 3 共産党は民衆の支持を得るため、1947年に憲法を制定した。
- 4 共産党は徐々に攻勢に転じ、敗退した国民党は台湾で中華民国を維持した。

問9 下線部(6)について、第一次世界大戦下のロシアでは革命が起き、ロマノフ朝の支配が終わった。このロシア革命に関する以下の文のうち、正しいものを一つ選べ。

- 1 三月革命によって成立した臨時政府は、立憲民主党を中心とする政府であった。
- 2 レーニンが亡命先のスイスから帰国し、四月テーゼを発表することで、ケレンスキーら臨時政府への協力を説いた。
- 3 ロシアでの革命に脅威を感じた各国はシベリア出兵を行ったが、アメリカは民族自決を理由に参加しなかった。
- 4 レーニンは平和共存・軍備縮小・国際平和機構設立を柱とする「平和に関する布告」を発表した。

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

中世の西ヨーロッパは、「封」(多くは土地)の授受を媒介として主君と家臣の間に結ばれる封建的主従関係と、荘園制(領主制)を基礎とする社会であった。

ゲルマン人の間には古くから、自由民が有力者に献身と忠誠を誓って従士となる代わりに、有力者から衣食や武器を供給され保護を受ける慣習があった。⁽¹⁾西ローマ帝国滅亡後のガリアに建国したフランク王国の支配層も自らの従士団を率いていたが、メロヴィング王権は従士に対して王領地から土地を贈与するようになった。分割相続と内紛により弱体化したメロヴィング王権に代わって実権を掌握したカロリング家のカール＝マルテルは、732年に領内に侵入してきたイスラーム騎馬軍を撃退したが、以後も南フランスへの遠征を繰り返し、その過程で機動的な騎馬兵を中心とする職業的戦士集団を作り上げた。そして、戦士として自らに従う家臣団を給養する手段として、教会・修道院領を没収してその用益権を彼らに与えた。こうして、フランク王権がカロリング家に移る8世紀中頃までには、家臣(封臣)は主君(封主)に対して生涯の服従と軍事勤務・政治的助言などの奉仕義務を負い、封主は封臣に土地や官職を「封」として与え、彼らを保護する義務を負うという、厳密な意味での封建制が成立した。

一方で、8世紀のフランク王国では荘園の形成も進行し、それに伴い領主権力が生まれた。⁽²⁾領主権力はそれぞれ独立した権力であったが、カロリング王権は支配領域の各地に国王直属の伯を地方行政官として派遣し、国王一直属封臣一下位封臣という重層的な封建的主従関係を築くことで、これら独立的な領主たちを、王を頂点とする権力秩序に組み込もうとした。しかし、カール大帝が支配領域を拡大するとともに、伯、あるいはその上位の大公といった地方行政官職は在地の有力者に与えられることが多くなり、とくにライン川以東の新征服地ではその傾向が顕著であった。カール大帝の帝国は集権化をめざすその政策にもかかわらず安定したものではなく、彼の死後50年あまりで西フランク王国、東フランク王国、中部フランク王国に三分割され、⁽³⁾中世のフランス・ドイツ・イタリアの空間的枠組みが形成された。⁽⁴⁾分割された帝国では、カロリング王権が弱体化し各地で伯や大公が自立化していく一方で、北からはノルマン人、南からはイスラーム、東か

らは A 人の襲撃を受けた。そのような内外の混乱の中で権力秩序の再編成が始まるが、その過程で封建制は地域ごとで異なる展開を見せた。

フランスでは、8世紀末から北海沿岸に出没していたノルマン人が、9世紀中頃からは内陸部深くにまで侵入して掠奪をくりかえしたが、弱体化したカロリング王権はこれに対処することができず、かわって各地の領主層が城や土塁・防壁を築いて防衛にあたった。10世紀に入り、ノルマン人の首長がフランス王からセーヌ川下流域を封土として与えられて建国⁽⁵⁾するとノルマン人の襲撃は終了するが、その頃には伯・大公といった封建諸侯が支配する領邦が各地に分立していた。987年カロリング家断絶後にフランス王に選ばれた B 家にしても、12世紀半ばまではそのような領邦権力の一つにすぎなかった。しかも、これらの領邦内部では、11世紀初めまでに多数の城主たちが城を拠点とする自立的な支配圏を築いていた。12世紀に入り農業と商業の発展が広域的な権力の立場を強めると、⁽⁶⁾諸侯は領邦内の相互に競合対立する城主層と封建の主従関係を結ぶことで、領邦内における集権化を図る。 B 王権も領邦内の城主層を家臣化する努力や北フランスの諸都市への支援を通して権力基盤と地位を固め、やがて領邦諸侯との間にも封建的主従関係を結び、とくに12世紀末以降、王権は飛躍的に強化され⁽⁷⁾ていった。

これに対し、カロリング期を通して部族の伝統が強く残っていたドイツ地域では、 A 人が9世紀末から掠奪と破壊を重ね、各地の部族はそれぞれに団結して反撃した。そのような中で部族大公の権力が強まり、911年にカロリング家が断絶する頃にはドイツは部族大公領の連合体という形を整えていた。しかし、919年にドイツ王に選ばれたザクセン大公ハインリヒ1世は A 人やノルマン人などの侵入を撃退し、その子オットー1世はイタリアの政情に介入してイタリア王位も獲得、さらに955年には A 人を決定的に破り、962年ローマ教皇から帝冠を授けられた。ザクセン朝の諸王は部族大公権を官職化してその任免権を握ること、一方で、司教座や修道院長に土地や関税徴収権、裁判権や伯権などを与えて彼らの権力を強めた上で王権への奉仕を求めることで、王権を強化した。しかし、ザリアー朝(1024~1125年)の時代になると、ローマ教皇との⁽⁸⁾叙任権闘争が王権に打撃を与える一方で、各地で中小貴族による居城を中心にし

た支配権の形成が進み、それらの権力を封建的主従関係で統合した諸侯が、旧来の大公領より細分化された領邦を支配するようになっていく。12世紀半ば以降、シュタウフェン朝はイタリアでの皇帝権回復に努めたが、一方でドイツでは聖俗諸侯の諸権限を大幅に認めた結果、ドイツでは封建的主従関係による集権化は王権によってではなく、領邦単位で進められることになった。そしてシュタウフェン朝断絶後、ドイツは大空位時代を経て、領邦による分権体制が決定的となるの⁽⁹⁾である。

問1 下線部(1)に関連して、従士制と呼ばれるこの慣習を伝える『ゲルマニア』を紀元1世紀末に著した、古代ローマの歴史家は誰か。解答欄にカタカナで記せ。

問2 下線部(2)に関連して、以下の1～4のうち、8～9世紀にロワール川・ライン川の間で特に発展した荘園について述べた文として適切なものをすべて選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- 1 荘園は農民が共同利用する入会地を除いてすべて農民保有地に区分され、領主は農民に収穫物の一部を貢納として納めさせていた。
- 2 荘園は領主直営地と農民保有地・入会地から成り、領主直営地は農民の賦役労働により経営されていた。
- 3 この時期の荘園は純粹荘園と呼ばれる。
- 4 農民はまだ領主に完全に隷属しており、家族を持つこともできず、奴隷に近い存在であった。

問3 下線部(3)に関連して、カール大帝が伯の監視のために全国に派遣した王直属の官吏は何と呼ばれるか。解答欄に漢字で記せ。

問4 下線部(4)に関連して、カール大帝の孫にあたる3兄弟の間で帝国を分割する条約が843年に締結された場所を、解答欄にカタカナで記せ。

問5 文中の空欄 に入るべき適切な語句を、解答欄にカタカナで記せ。

問6 下線部(5)に関連して、このノルマン人の首長とは誰か。解答欄にカタカナで記せ。

問7 文中の空欄 に入るべき適切な語句を、解答欄にカタカナで記せ。

問8 下線部(6)に関連して、北海商業圏と地中海商業圏を結ぶ位置にあって、年間を通じて4都市で順に国際的な定期市が開かれるようになって栄えたフランス北東部の地方はどこか。解答欄にカタカナで記せ。

問9 下線部(7)に関連して、1214年にフランス北東部のブーヴィーヌでイングランド王・ドイツ王・フランドル伯の連合軍を破り、イングランド王から大陸領の大半を奪って王領地化した 朝の王は誰か。その名前を、何世かも含めて解答欄に記せ。

問10 下線部(8)に関連して、以下の1～4のうち、叙任権闘争について述べた文として不適切なものをすべて選び、解答欄にその数字をマークせよ。

- 1 ローマ教皇グレゴリウス7世は、聖職叙任権は教皇にあることを主張し、帝国教会政策のために聖職の任免権を保持したい神聖ローマ皇帝と争った。
- 2 ローマ教皇側は破門を手段として、皇帝側と争った。
- 3 破門された神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世は北イタリアのカノッサで教皇に許しを請うたが、破門を解かれることはなく、そのためにドイツ諸侯により神聖ローマ皇帝位からも追われた。
- 4 叙任権闘争は1122年にローマ教皇インノケンティウス3世が神聖ローマ皇帝オットー4世との間に結んだヴォルムス協約で一応終結した。

問11 下線部(9)に関連して、

- ① 大空位時代後の1356年に神聖ローマ皇帝が発布した、7人の選帝侯を定め、皇帝に対する領邦君主の優位を決定づけた勅書は何と呼ばれるか。解答欄に漢字で記せ。
- ② その勅書を発布した神聖ローマ皇帝とは誰か。その名前を、何世かも含めて解答欄に記せ。

(白 紙)